



梅花女子大学・梅花短期大学 図書館

Baika Library Times

図書館ホームページが リニューアル！！

私たちを取り巻く情報社会は、急激に変化しています。図書館でも近年、冊子形態の図書や雑誌に対して、CD-ROM・DVD等の電子資料の購入の割合が増えてきました。オンラインデータベースやオンラインジャーナル(現在は無償のもののみ)の利用登録も行なっています。利用者の皆さんも、日頃レポートなどのために収集する資料はインターネットからのものが増えてきているのではないのでしょうか。

ここで、気をつけなければならないのは、インターネット上には大量の情報が存在しますが、その情報は、品質に保証がないということです。インターネット上では、誰もが発信者になれますし、無償で提供されているため、その情報は玉石混淆です。そのため、本当に必要な情報を探し出すのは困難であり、「情報の収集能力」とともに「情報の選別能力」つまり「情報リテラシー」が必要になります。

図書館では、利用者みなさんにより有効な資料を見つけてもらえるように、ホームページにいろいろな「[リンク集](#)」を用意しています。今回その中のいくつかを見直し、追加・修正をしました。日々の課題や論文作成にご活用ください。


前号で、「情報リテラシーを身につけよう！」と題してガイダンスのお知らせをしました。しかし、参加者は大変少ないものでした。参加できなかった利用者のために、「いつでも、どこでも、誰にでも」利用可能なWeb上でこれらのガイダンスの代わりに「[資料の探し方](#)」という項目も追加しました。

生涯学習がさかんな今日、卒業後も「学び続ける」という姿勢が必要になることでしょう。自分に必要な情報を自立して収集することができるよう、各学科の専門分野はもちろん、コンピュータリテラシーと共に、情報リテラシーも身につけて卒業してください。(安威和世)

目次:

図書館ホームページが リニューアル！！	1
図書館ホームページ	2
2001年度後期図書館 展示と講演会のお知らせ	4
大学図書館の動向	5
新収資料から	5

- [資料の探し方](#) 以下の探し方について説明しています。
- 館内資料の探し方 ● インターネットを利用した他館蔵書の探し方
- 雑誌記事の探し方 ● あるテーマについてのインターネット上の資料の探し方
- [リンク集](#) 情報収集にぜひこのリンク集を役立ててください。
- [出版情報を調べる](#) 出版社のリンク集。国内外の出版情報を調べることができます。
- [本を読む](#) オンラインで本を読むことができます。たとえば青空文庫など。
- [新聞を読む](#) 国内新聞(全国紙4紙)のほか、外国新聞も読むことができます。
- [電子ジャーナル](#) Oxford University Press (OUP)刊行の電子ジャーナル全タイトルが利用できます。学内のみの利用です。
- [白書](#) 各種白書のWeb版です。全文、または概要を読むことができます。
- [辞書](#) 英和辞典、和英辞典、国語辞典、新語辞典など、オンラインで辞書がひけます。
- [主題別リンク集](#) ・[児童文学関係](#) 各種児童文学関係サイトへのリンク集です。
・[福祉関係](#) 本学人間福祉学科の手作りページindexへリンクしています。
- [主要検索エンジン](#) Yahoo! JAPAN など、主要検索エンジンのリンク集です。



梅花女子大学・梅花短期大学 図書館ホームページ

http://www.baika.ac.jp/lib

◆ News

図書館の最新情報です。
閉館の通知や、展示会・講習会のお知らせなど、利用者の皆さんへのお知らせを掲載します。
当ホームページの更新状況・図書館カレンダーもこちらで確認できます。

◆ 図書館の概要

本学図書館の特徴、蔵書数など、図書館の概要について説明しています。

◆ 利用案内

図書館の利用案内です。
開館時間や貸出・返却の手続き等、図書館を利用する際に必要な情報はここで確認できます。

◆ 新着展示 (新着資料速報)

図書館で受け入れた新着資料を検索できます。OPAC (蔵書目録データベース)へリンクしています。

◆ 新刊展示

ベストセラーなどの今話題の本は、館内の「新刊コーナー」に展示しています。
ここは、新刊コーナーの案内です。

◆ 資料の探し方

求める資料をどうすれば探し出せるか、基本的な資料の探し方をご案内します。

◆ よくある質問と回答

よくある質問をまとめました。

◆ 学外者の方へ

本学の卒業生、および学外者の方への図書館利用方法の案内です。卒業後も図書館は利用できます。

◆ 学園資料室

梅花学園資料室のホームページへリンクしています。



▶ 本学の所蔵を調べる (Bai-Lines)

- ◆ OPAC(蔵書目録データベース)
オンラインで本学図書館の蔵書を検索できます。
- ◆ 児童文学雑誌記事データベース
本学図書館所蔵の和雑誌・紀要に掲載された児童文学及びその関連分野の記事情報をオンラインで検索できます。

▶ 他館の蔵書を調べる

- ◆ Web-CAT
Web-CATとは、国立情報学研究所による目録所在情報サービスです。全国の大学図書館の図書・雑誌の所蔵を調べることができます。
- ◆ 国内図書館
- ◆ 国外図書館
国立国会図書館をはじめ、全国のさまざまな図書館の蔵書を検索することができるリンク集です。国内・国外別になっています。

▶ 雑誌記事を調べる

- ◆ MAGAZINEPLUS 学内のみ
MAGAZINEPLUSとは、国内最大規模の雑誌・論文見出しデータベースで、雑誌記事を検索できます。学内での利用となります。

▶ リンク集

- 情報収集に役立つサイトへのリンク集です。
- ◆ 出版情報を調べる
 - ◆ 本を読む
 - ◆ 新聞を読む
 - ◆ 電子ジャーナル
 - ◆ 白書
 - ◆ 辞書
 - ◆ 主題別リンク集
・児童文学関係
・福祉関係
(学科の手作りページindexより)
 - ◆ 主要検索エンジン

◆ 図書館広報誌 Baika Library Times (BLT)

図書館広報誌 Baika Library Times (BLT)をご覧ください。

2001年度後期 図書館展示と講演会のお知らせ

児童文学科創設20周年を記念して



図書館6階展示コーナー

：ヴィクトリア朝の絵本

展示期間：10月1日～11月9日

：日本のこども雑誌

明治期

展示期間：11月15日～12月20日

大正・昭和（戦前）期

展示期間：1月10日～3月23日

講演会

お話：三宅興子児童文学科教授

日時：10月25日（金）

2時40分～4時10分

F503教室

講演会

お話：畠山兆子児童文学科教授

平成14年1月、開催予定

前期に引き続き、児童文学科創設20周年を記念しての展示を行います。
展示資料の解説講演会も計画しています。是非ご参加ください。

お問い合わせ、講演会の申込みは：

梅花女子大学・梅花短期大学 図書館レファレンスカウンターまで。

学園資料室展示

第15回特別展示

「成瀬仁蔵を取り巻く人々」

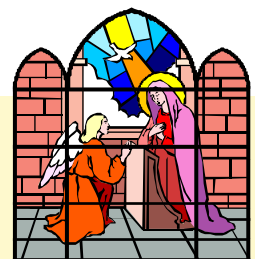
展示期間：2001年10月9日

～2002年3月23日

展示場所：澤山記念館資料展示ホール

開催時間：9:00～16:00

（休館日：毎土・日曜）



日本女子大学が、本年創立100周年を迎え、創立者成瀬仁蔵に関わる記念展示のために、本学園資料室にも協力依頼がありました。

そこでこの機会に、本学の創立者澤山保羅と成瀬仁蔵との深い親交関係を中心に展示しています。

大学図書館の動向

大学図書館における「情報リテラシー教育」について

9月13、14日の両日、一橋大学にて「大学図書館研究集会」が開催された。2年毎に開催され、今年のテーマは「21世紀における大学図書館の役割と責務 - 社会の多様化・個性化・共同化に対応した情報資産の蓄積、活用及び展開 -」。第2分科会「情報リテラシーと相互協力」に参加した。この研究集会の報告を交えながら、本学の「情報リテラシー教育」「授業中における図書館利用ガイダンス」などについて述べたい。

多くの大学図書館は、学生に対する図書館利用教育・情報リテラシー教育をオリエンテーションや図書館主催のガイダンス（利用者が自主的に参加するもの）で行うことに限界を感じ、全学的・組織的に取り組まなければ良い効果があがらないと分析している。先生方との意見交換・支援を大切に、ガイダンスからカリキュラム化することにより、受講対象者が拡大できた、さらには必修科目にして全学生が情報リテラシーを身につけるようにすることが望ましい、との報告があった。（京都大学が全学生に対して「情報探索入門」の講義を必修科目として久しい。）

本学でも授業中に館員が行なう図書館利用ガイダンスを希望される先生は年々増加している。（1999年度のべ6講時、2000年度のべ11講時+60分）すでに来春、ある学科では、必修科目の1コマに図書館利用教育を組み込むことにより、その学科の全学生が受講する予定になっている。

図書館では「館内案内」「図書館利用法全般」「OPAC検索法」「参考図書案内」「インターネットによる情報探索」等のガイダンスを用意している。

先生方には、まずは、授業中における図書館利用ガイダンスをご検討いただきたい。各先生方の希望に沿った内容で行ないます。お問い合わせはレファレンスカウンターまでお願いいたします。（内線：426）

同研究集会では、「情報リテラシー教育」について以下のような報告もあり、当館でできることは何かを考えてみた。

小学生から高校生を対象に「子どもインターネット教室」を開いている大学図書館の報告。現在、総合学習、調べ学習とおして生徒たちは、図書館やインターネットなどから情報を上手に検索・収集しているとのこと。本学園の中学・高等学校の生徒・図書室と大学図書館とのあり方も検討したい。

現在、どの大学も人員不足の状態が続いている。そのため、「指導サービス」に十分な時間を割くことが難しくなっている。そこで全国の図書館員が協力して、Web上で講習会などで使用するテキスト・資料の共有化を図ろうとしている。本学もこれらに参加し、利用者にとって分かりやすいテキスト作りに取り組みたい。各大学図書館で得意分野を伸ばし、差別化する必要も出てくるであろう。その際、本学では何が必要かを館員、教職員が情報交換の場を持ち、進めていければと思う。

今回のホームページのリニューアルでは、学生が「情報リテラシー」を個人学習できるページも盛り込んだ。まだまだ、基本的な部分だけであるが、今後、発展させていきたい。

（安威和世）

新収資料から

CD-ROM版『日本風俗図絵』

大空社 2001年刊（3階：請求番号:CD-ROM#287）



これは、日本の代表的な浮世絵師・菱川師宣や喜多川歌麿などが描いた近世絵本35冊から、約2600点の風俗図絵を、高精細画像で1枚のCD-ROMに収録したものである。

原本は、「日本風俗図絵」全12輯 <黒川真道編 大正3(1914)年 日本風俗図絵刊行会刊>の和装本（当館所蔵：382#N-6#1~12）で、おそらくどの図書館でも、禁帯出扱いで実際に手にとって見る事が簡単にできないものであるが、このCD-ROMではパソコンを操作する事によって、必要な箇所を瞬時に画像として蘇らせる事が出来る。

すなわち、江戸時代初期から後期にかけての風俗・風景・社会・生活にタイム・スリップして出会えるのである。

検索のためのツールボタンも充実していて、書名検索はもちろんのこと、キーワード検索では、絵の中に登場する人物の階層（例えば、公家、武士、僧侶から遊女、子供まで）や動植物、季節、場面など27の選択肢の中から、5つまでなら組み合わせ可能で、探したい図版を絞り込んでいくことができる。又、肉眼では見えにくい人物が持っている細かな物や着物の絵柄を10段階までズームインし拡大させて見る事も可能で、スライドショーボタンを使って、各コマ順送りや逆送りしたり、再生スピードを6段階に調整する機能もあり、自分のペースで閲覧出来る。このCD-ROMは、近世の文化・風俗・絵画に関わる研究者から、服飾関連デザイナー、絵本研究者まで幅広く活用出来ると思われる。（小山玲子記）



Baika Library Times

(年2回刊 4月,10月)



今回のBLTではリニューアルされた図書館のホームページをご紹介しました。自分が必要としている分野の情報が集約されている、有効な情報が満載しているポータルサイトやリンク集を見つけることができれば、検索の手間もなくなり、効率よく情報を入手することができます。本学図書館のホームページが皆さんのポータルサイトとなれるよう、今後も内容の充実を図りたいと思います。

こんなページを作ってほしい、こんなテーマのリンク集があればいいな、等ご意見・ご希望がありましたら、レファレンスカウンターにお申出ください。メールでも受付けております。

5月25日に行なわれた石澤小枝子児童文学科教授の講演会『長谷川光文社「ちりめん本」について』がCD-ROMになりました。前号でお知らせした電子化された「ちりめん本」の画像をふんだんに使った石澤先生の講演会と図書館6階展示ホールでの展示風景が動画で収められています。お問い合わせは、梅花学園生涯学習センターまで。

前期の講演会の参加人数は次のとおりです。

5月25日「ちりめん本」(石澤小枝子児童文学科教授)には約80名(内学外者20名) 6月21日「絵双六・おもちゃ絵・黒本・豆本」(加藤康子児童文学科助教授)には約100名(同5名)でした。

後期の講演会は、10月25日の三宅興子児童文学科教授「ヴィクトリア朝の絵本」、来年1月には畠山兆子児童文学科教授「日本のこども雑誌」の講演会を計画しています。是非ご参加ください。

(編集責任：図書館広報担当者連絡会 / 安威・岩)

梅花女子大学・梅花短期大学 図書館

〒567-8578
大阪府茨木市宿久庄2-19-5

図書館
電話 0726-43-8498
Email bLibrary@baika.ac.jp

資料室
電話 0726-43-8447
Email shiry@baika.ac.jp

共通
Fax 0726-43-1952

図書館ホームページ

URL <http://www.baika.ac.jp/lib>